

研究機関名：東北大学

受付番号： 2014-1-197
研究課題名 分離肺換気を用いた全身麻酔下食道がん一期根治術において、麻酔方法の違いが周術期の患者予後に与えた影響の検討
研究期間 西暦 2014年 7月（倫理委員会承認後）～ 2015年 6月
対象材料 <input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名 _____） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名 _____） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（診療録・麻酔記録 _____）
上記材料の採取期間 西暦 2008年 1月～ 2010年 12月
意義、目的 生体に与える影響に関してもそれぞれの麻酔方法の優劣に関する結論は得られていない。分離肺換気を用いた全身麻酔下食道がん一期根治術において、分離肺換気と手術侵襲に関して、麻酔方法について従来より免疫機能・酸素化能などに対する影響についてさまざまな報告がなされている。患者背景に差異のない患者において、使用した麻酔薬による肺機能・酸素化能・炎症反応などについて調査し検討することを本研究の目的とする。
方法 東北大学病院で2008年1月から2010年12月の期間に、食道がんで入院、開胸操作を伴う食道一期根治手術を受けた患者を対象とする。診療録・麻酔記録のデータを後ろ向きに検討する。調査項目①術前の患者背景。②術式、手術時間、麻酔時間。③術後に人工呼吸期間・集中治療期間。④周術期の体温変化・酸素化能。⑤術後のCRP、白血球数。統計学的解析にはJMP Pro ver11日本語版を使用して、t検定、 χ^2 乗検定を行い、検討項目によっては多変量解析を行う。
問い合わせ・苦情等の窓口 東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座麻酔科学・周術期医学分野 実施責任者：吾妻俊弘 〒980-8575 仙台市青葉区星陵町2-1 TEL：022-717-7321 FAX：022-717-7325